

主人公のキム・ジヨン は 33 歳の主婦。3 歳年上の夫と 1 歳になる娘とソウル郊外で暮らしています。「ジヨン」という名は、1982 年生まれの韓国の女性で最も多い名前だそうです。あえてどこにでもいそうな名前にすることで、この物語がけして特定の人のものではないことを訴えています。ジヨンは誕生から学生時代、就職、結婚、出産に至るまで様々な差別に苦しみながらも必死に生きてきました。しかし、ある日、通りすがりの人から侮辱されたことで精神に異変をきたし、精神科病院に通い始めます。この物語は、ジェンダー意識に関わる現代史や社会問題を織り交ぜながら、女性が負う重圧や生きづらさを映し出しています。2019 年には映画化され、大きな注目を浴びました。日本語訳版の文庫が今年の 2 月に発売され、再び話題となりました。みなさんも、ぜひ読んでみてください。

『82 年生まれ、キム・ジヨン』チョ・ナムジュ／著，斎藤 真理子／翻訳，筑摩書房